

# 第 4 2 期 事 業 報 告 書

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

*With You*



**日東工器株式会社**

## 信頼と実績という礎のもと、 さらなる革新を追求し、 着実な歩みを続けています。



代表取締役社長  
高田 素行

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第42期(平成9年4月1日～平成10年3月31日)の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期のわが国経済は、期初からの個人消費の不振や中堅・中小企業の設備投資の減退、公共投資の抑制に加え国内にあっては金融不安、東南アジアにおいては通貨不安も発生し、景気回復の兆しが見られないまま推移いたしました。

機械業界におきましても、内需が低迷し、期後半はアジア経済の混乱の影響が大きく、不況色を一段と濃くした期でありました。

こうした状況のもとで、当社は製販の両面にわたり国内外で積極的な事業を展開し業績の一層の向上に努めましたが、当期売上高は227億2700万円(前期比0.4%増) 経常利益は39億1400万円(同5.0%減)と微増収・減益を余儀なくされました。

しかしながら、当期利益は法人税額等の減少によって22億2000万円(同1.6%増)を計上するに至りました。

また、当社株式は平成10年4月27日付をもって関係官庁ならびに東京証券取引所のご承認をいただき、東京証券取引所 市場第二部への上場を果たすことができました。

以上を踏まえ、当社は株主各位のご支援に報いるため、本年も5月20日付をもって株式分割(1:1.2株)を実施。また当期の配当につきましては普通配当25円に上場記念特別配当5円を加えて計30円(うち10円は中間配当金として支払済)とし、前期比10円増とさせていただきます。

当社は引き続き 迅速流体継手「カブラ」 省力化機械工具 リニア駆動ポンプ 搬送・測定関連機器、を事業の四本柱とし、それぞれの分野で独創的な新製品開発とさらなるコストダウン、納期短縮、品質向上を図り、内外市場の一層の拡大に努める所存であります。

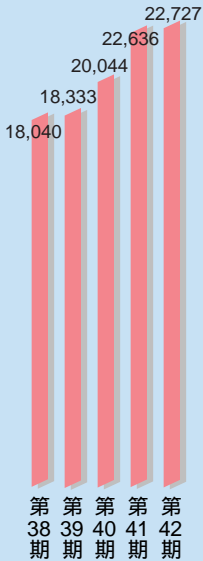
株主の皆様には倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成10年6月

# 業績の推移

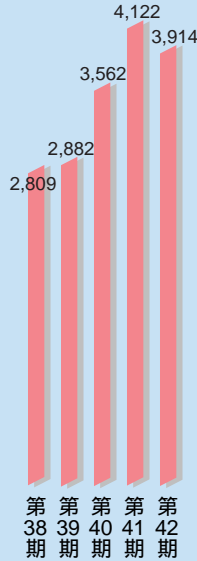
## 売上高

(単位：百万円)



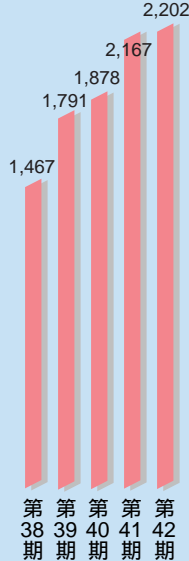
## 経常利益

(単位：百万円)



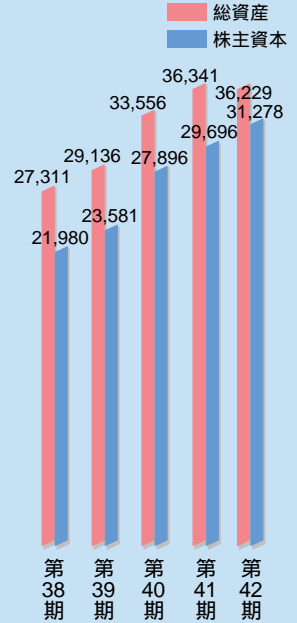
## 当期利益

(単位：百万円)



## 総資産 / 株主資本

(単位：百万円)



## 財務ハイライト

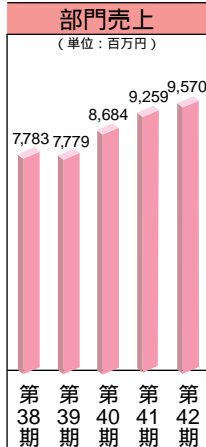
(単位：百万円)

決算期	第38期 (平成6年3月期)	第39期 (平成7年3月期)	第40期 (平成8年3月期)	第41期 (平成9年3月期)	第42期 (平成10年3月期)
売上高	18,040	18,333	20,044	22,636	22,727
経常利益	2,809	2,882	3,562	4,122	3,914
当期利益	1,467	1,791	1,878	2,167	2,202
総資産	27,311	29,136	33,556	36,341	36,229
株主資本	21,980	23,581	27,896	29,696	31,278

# 事業紹介

—Challenge, Change & Speed—

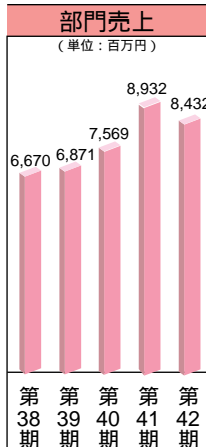
## COUPLINGS



### 業界シェアNo.1。 ハイテク産業分野にも用途拡大。

空気、ガス、油、水、高純度薬品など、あらゆる流体の配管をワンタッチで着脱する迅速流体継手「カプラ」。創立以来、培ってきた流体工学と精密加工技術に豊富な経験、ノウハウを加え、3,000シリーズ・25,000種類の製品群をそろえ、業界シェアNo.1。さらに産業界の新たなニーズに応え住宅用などの新製品も続々と開発。コンピュータ、半導体、原子力、宇宙・海洋開発などハイテク産業分野にも用途は拡大の一途をたどっています。

## MACHINES & TOOLS

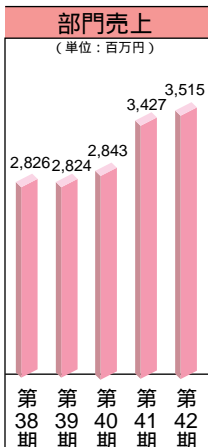


### 鋼材加工用を主体に 現場の合理化・省人化に貢献。

当社の機械工具は、その駆動源によって空気工具、電動工具、油圧工具の3種類に大別されます。用途は建築、土木、造船などの鋼材加工が主体ですが、普通鋼材用だけでなく最近ではステンレス加工用の新機種もシリーズ化しています。いずれも独自の設計構造で、小型・軽量、操作性に優れ、現場の合理化・省人化ニーズに応える“即戦力”として好評をいただいています。今後、さらに先端技術、新素材を活用し“次世代の機械工具”開発を目指します。

現在を見直すとともに、つねに先を考える。  
先取りの気質で、新たな市場に積極的に挑戦しています。

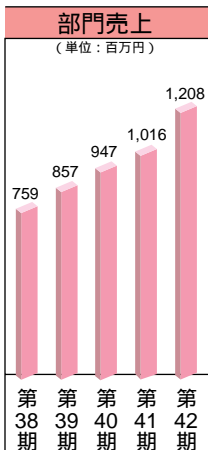
## LINEAR PUMPS



### 用途が拡がり豊富な機種構成。 OEM供給先が拡大。

当社が世界で初めて開発したりニア駆動ポンプはシリンダ内のピストンだけが往復動する画期的な製品です。構成部品が少ない独特の構造で小型、低振動・低作動音、オイルレス、省電力など数多くの特徴・機能を持っています。このため各種機械・装置に組み込むエア源、バキューム源として世界的にも高い評価を得ています。その活躍分野は医療・健康・美容機器、食品機械や自販機など幅広く、OEM(相手先ブランド)商品供給先は大手電機メーカーなど着実に増加しています。

## BALANCERS/ MEASURING SYSTEMS



### 幅広いニーズに対応し 機種の商品揃えを拡大。

重量物搬送現場で活躍する三次元バルサ―「NK.パラマン」―工場・倉庫だけでなく農業や製本業も含めた幅広い産業分野で活用され、既に1万5千台以上もの納入実績をもっています。搬送現場のさらなるニーズに対応するため、従来の空気駆動式に加え電動式やホイストタイプなどの機種も加えて品揃えを拡大しました。また、計測値を無線入力する「テレメジャー」も品質保証の国際規格「ISO9000シリーズ」の認証取得活動で脚光を浴び、新機種を主体に積極拡販しています。

## ハイカプラエース



軽量、高い耐衝撃性・耐圧力。  
業界初の自動ロック機能を持った  
『ハイカプラエース』。

空気工具などの配管接続作業の簡便・合理化ニーズに応えた『ハイカプラエース』。ワンタッチ接続方式、自動開閉バルブに加え、接続と同時に自動ロックして不意の離脱を防止する業界初のセフティロック機構を内蔵しました。さらにエンジニアリングプラスチックを採用して金属製の約1/4という軽さでも、耐圧力は金属製と同じ20kg/cm<sup>2</sup>を確保、高い耐衝撃性を実現しました。自動車関係など幅広い分野で大きな注目を集めています。

## チューブフィッター



コンパクトなボディに凝縮された  
高い機能性と品質、  
『チューブフィッター』。

空気圧機器の配管接続に欠くことができない『チューブフィッター』。直接チューブを差し込むだけのワンタッチ接続。切り離しはフィッター先端のボタンを押して、チューブを引き抜くだけの簡単さです。さらに人間工学を考慮してデザインされた形状が、つかみやすく、より確実な接続をサポートします。製品種類は55タイプ・342機種にのぼり、全機種コンパクトタイプなので、組み付ける機器類のさらなる小型化を可能にします。

省力化、省エネ化、そして高い信頼と安全性。  
日東ならではの製品開発姿勢はますます高い評価を得ています。

### エアソニック AL - 55



滑らかな回転と無段変速で  
より精密な研削を実現した  
『エアソニック AL - 55』。

幅広い用途の研削作業に威力を発揮する無段変速(回転数0~56,500rpm)可能な、空気式ダイグラインダ『エアソニックAL-55』。滑らかな高速回転と低振動構造によって、より精密な研削を実現し、金型の加工・修正や部品の面取り、狭い箇所の研削、プラスチック製品の修正研削作業など幅広いニーズに応えます。さらに排気ホースに遠隔(後方)排気方式を採用。研削粉の飛散を防止でき、クリーンな作業環境を確保します。

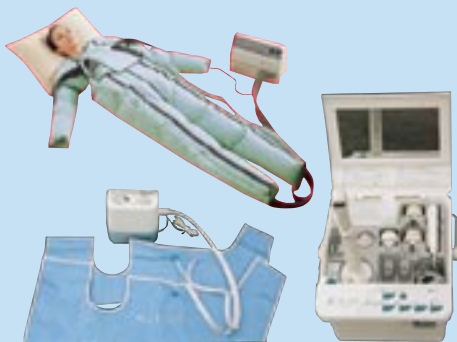
### タッピングアトラ MT - 200



軟鋼材へのネジ立て作業の効率を  
さらにアップする  
『タッピングアトラ MT - 200』。

軟鋼材にネジ穴を簡単につくれる、携帯式磁気応用タッピング盤『タッピングアトラMT-200』。ダイヤル式無段変速機構の採用でタップサイズにあった最適な回転数を簡単に選択でき、モーターの正・逆転がハンドル操作だけで簡単にできるなど、操作性を飛躍的に向上させました。また、「止まり穴」へのネジ立て作業ではタップ先端が穴底に触れてもインパクト方式によってクラッチが自動的に外れ、タップの破損を防ぎます。

## リニアOEM製品



『ビューティモア』など医療・美容機器のOEM製品が続々と誕生。

エアマッサージャーの大型・全身タイプや当社『メドマー』の簡易タイプ、フェイスコンディショナーと呼ばれる美顔器など、エア供給源に当社独自のリニア駆動ポンプやDCポンプを活用した医療・美容機器が次々と開発されています。関西に本社を置く大手健康機器メーカーや、大手電機メーカーから受注したOEM（相手先ブランド）商品で「ビューティモア」「美・フェイス」「リフレット」という商品名で続々と発売されています。これらの製品は設計開発から、金型製作、製造組立まで当社が行い、完成品として納入しているものです。

## 電動バラマン



200V電源があればどんな作業現場でも設置・使用できる『電動バラマン』(スカラタイプ)

搬送ロボットの開発で蓄積したメカトロ技術と、エア式バラマンの実績で培ったノウハウを結集して開発された『電動バラマン』。コンプレッサーが必要なエア式と異なり、200V電源さえあればどんな作業現場でも設置・使用できます。さらに「スカラタイプ」としてアーム部を水平に伸ばしたり、折り曲げたりすることができるので、広い範囲での使用が可能です。吊上げ荷重50kg用と75kg用の2タイプがあり、それぞれ床上設置型と天井設置型をラインナップしました。

# TOPICS

平成10年4月27日、東証第2部に上場いたしました。



当社株式は、関係官庁ならびに東京証券取引所の承認を得て4月27日に東京証券取引所市場第2部に上場いたしました。平成7年10月の店頭登録以来わずか2年半という短い期間で東証第2部に上場できたことは、株主の皆様方のご支援によるものと全社員感謝しております。国内の景況は依然として厳しいと予想されますが、当社は株主の皆様方のご期待にお応えできるよう、“21世紀のグローバル企業”を目指して、これからも積極的な経営努力を続けて参ります。



上場記念楯

昭和31年10月の創立以来、日東工器は産業界の合理化、省力、省人化ニーズにお応えする専門機器メーカーとして、独自の開発力、生産技術は世界一級屈指との評価をいただいております。これから日東工器は省力化機器を核として、21世紀のグローバル企業を目指して躍進いたします。

**おかげさまで  
日東工器は、本日  
東証第二部に  
上場いたしました。**

高田 啓一 社長

高田 素行 専務取締役

平成10年4月27日

事業内容  
 ワンタッチ式液体圧搾銃「カブ」 網目加工用強力圧搾銃  
 (エア・油圧・電動) 圧搾機アタッチメントカセット  
 シュ 重量物用圧搾用「ワンダー」 固定・可動型圧搾機 —— 等

本社・研究所 / 〒446-8555 東京都大田区仲延 2-2-24 TEL.03(3785)1111  
 支店 / 大阪 TEL.06(973)8501 / 名古屋 TEL.052(56)12881 / 神戸 TEL.078(56)12881  
 営業所 / 札幌・仙台・郡山・新潟・北関東・水戸・埼玉・八王子・静岡・浜松・松本・長野・富山・石川・徳島  
 〒410-8555 http://www.nitto-kohki.co.jp



上場通知書

## 主力3商品本部とその生産拠点のすべてで 「ISO 9000シリーズ」認証を取得。

品質保証の国際規格「ISO 9000シリーズ」については、平成7年11月に『カブラ』および『リニア』の生産拠点である氏家工場がいち早く「ISO 9002」の認証を取得しています。これに続いて平成9年12月にカブラ本部と機工本部が、さらに平成10年2月にリニア本部がそれぞれ「ISO 9001」の認証を取得しました。機工本部の認証範囲には機工製品の生産を担当する関連会社(株)メドテック(山形市)も含まれています。

これによって主力3商品本部と国内の生産拠点のすべてで「ISO 9000シリーズ」の認証を取得したことになります。



当社は引き続き全製品部門で品質保証システムの拡充と、品質管理の一層のレベルアップに取り組んで参ります。

## 東南アジア地域の販売拠点としてシンガポール支店を開設。

当社は、2000年に海外部門の売上げを総売上構成比の20%に引き上げるべく、海外営業活動の強化・拡充を図っています。その一環として、従来のシンガポール事務所を

平成10年4月1日付で支店として昇格・開設し、東南アジア地域の販売拠点として陣容も強化しました。

## 1階にショールームを併設した、仙台営業所の新社屋完成。

昨秋から仙台卸商センター団地内に建設を進めていた仙台営業所の新社屋が平成10年4月に完成し、旧事務所から移転を済ませ、業務を開始しました。1階には当社全製品を展示したショールームを設け、ユーザーが各種製品の特徴・機能を実際に手にとり確認していただける体制も整えました。



# 営業の概況

## 1. 営業の経過および成果

当期における日本経済は、消費税率の引き上げや個人医療費負担の増大などから期を通じて個人消費が低迷し、それに加え11月に発生した金融不安と12月に入って深刻となったアジアの通貨不安から一段と不況色を強めた一年でした。

当社をとりまく機械業界は、工作機械こそ国内の更新投資や欧米向け輸出の増加により活況を呈したものの、産業機械は内需が公共投資の抑制や民間設備投資の減速から低調となり、外需の方も後半のアジア経済の混乱で、不調を極めました。

こうした経済環境のなかで、当社は価格を抑えた改良型新製品や、フランスの有力メーカーとの提携による新製品を国内に投入し、既存製品の販売減少をカバーするよう努めました。また、海外向け販売においては、特に欧米の販路拡大に注力いたしました。

生産面では、前期からの大型投資でありました氏家第6工場が昨年6月に竣工し、カブラの売上150億円達成に向けての態勢がととのいつつあります。また、浄化槽用ブロワのコストダウンを図るため、昨年3月タイ国に生産子会社のNITTO KOHKI (THAILAND) 社を設立しましたが、順調に稼働しております。一方、製品の品質を一段と引き上げるため全社挙げて取り組んできました「ISO 9001」認証取得は、昨年12月から本年2月にかけて3商品本部とも達成することができました。

上記の結果、当期の売上高は 227億27百万円となり、前期(226億36百万円)に比べて0.4%の微増収(90百万円増加)となりました。

製品部門別に見ますと、迅速流体継手部門では、新製品の投入効果と拡販キャンペーン効果もあって、売上高は95億70百万円となり、前期(92億59百万円)に比べ3.4%の増収(3億10百万円増加)となりました。

機械工具部門では、国内設備投資の冷え込みと、下半期のアジア向け輸出が急減したことの影響を強く受け、売上高は84億32百万円にとどまり、前期(89億32百万円)に比べ5.6%の減収(4億99百万円減少)となりました。

リニア駆動ポンプ部門では、輸出の伸びと新製品の投入効果はあったものの、売上高は35億15百万円と前期(34億27百万円)に比べ2.6%の微増収(88百万円増加)に終わりました。

その他の部門では、テレメジャー(測定機器)が28.3%増、パラマン(重量物搬送機器)が18.2%増など好調な伸びを見せ、売上高は12億8百万円と前期(10億16百万円)に比べ18.9%の増収(1億91百万円増加)となりました。

利益面におきましては、売上構成の変化などによる原価率の上昇があり、材料の値下げや製造工程の合理化などのコストダウン努力もおよばず、経常利益は39億14百万円と前期(41億22百万円)に比べ5.0%の減益(2億7百万円減少)となりました。しかし当期利益は法人税額等が減少したため22億2百万円と、前期(21億67百万円)に比べ1.6%の増益(34百万円増加)となりました。

## 2. 設備投資および資金調達の状況

当期の設備投資の総額は、16億32百万円であり、その主なものは氏家第6工場建物および生産設備であります。

所要資金は、自己資金により充たいたしました。

## 3. 会社に対処すべき課題

今後における日本経済は、円安水準で推移している為替の影響と大型景気刺激政策の効果はある程度期待できるものの、不良債権と在庫調整の圧力は重苦しく、平成10年度の経営環境は、限りなく足踏みに近い緩やかな前進と予想する他ありません。

このような厳しい情勢の中で当社は、平成10年4月27日に東京証券取引所市場第2部に株式を上場することができました。今後も株主の皆様のご期待に沿うべく、業績を安定的に拡大するよう努力して参る所存であります。

株主各位におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第42期	第41期
	平成10年3月31日現在	平成9年3月31日現在
流 動 資 産	25,238,853	26,703,684
現金及び預金	12,620,835	14,184,176
受 取 手 形	5,090,544	5,422,835
売 掛 金	4,596,893	4,085,610
有 価 証 券	160,393	206,729
棚 卸 資 産	2,689,004	2,526,335
その他の流動資産	157,581	352,697
貸倒引当金	76,400	74,700
固 定 資 産	10,990,167	9,638,039
有形固定資産	7,138,428	6,275,461
建物・構築物	3,016,575	2,240,088
機械及び装置	620,021	399,838
工具器具及び備品	672,962	518,961
土 地	2,664,371	2,533,185
その他の固定資産	164,497	583,388
無形固定資産	23,275	44,919
投 資 等	3,828,463	3,317,659
投資有価証券および円貨株式	2,334,369	2,208,381
自 己 株 式	215,379	—
その他の投資等	1,280,714	1,113,277
貸倒引当金	2,000	4,000
資産の部合計	36,229,021	36,341,724

科 目	第42期	第41期
	平成10年3月31日現在	平成9年3月31日現在
流 動 負 債	4,234,786	6,042,476
支 払 手 形	1,106,835	2,791,648
買 掛 金	973,209	817,468
未 払 金	333,890	210,194
未払法人税等	775,000	1,090,000
未払事業税等	235,926	305,802
賞与引当金	454,000	436,000
その他の流動負債	355,923	391,361
固 定 負 債	715,666	602,615
退職給与引当金	403,406	369,879
役員退職慰勞引当金	213,673	193,785
その他の固定負債	98,586	38,950
負債の部合計	4,950,453	6,645,092

科 目	第42期	第41期
	平成10年3月31日現在	平成9年3月31日現在
資 本 金	1,850,324	1,850,324
法定準備金	2,217,077	2,154,695
剰 余 金	27,211,166	25,691,612
(うち当期利益)	(2,202,227)	(2,167,266)
資本の部合計	31,278,568	29,696,632

負債及び資本の部合計	36,229,021	36,341,724
------------	------------	------------

(注) 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2.有形固定資産の減価償却累計額 第42期 5,577,492千円  
第41期 5,044,376千円

3.その他の流動資産には、自己株式187千円が含まれております。

4.商法第290条第1項第5号に規定する合計額は215,379千円であります。

# 損益計算書

(単位：千円)

科 目		第 4 2 期	第 4 1 期
		平成9年4月1日-平成10年3月31日	平成8年4月1日-平成9年3月31日
経常損益の部	営業収益の部		
	営業収益	22,727,388	22,636,448
	営業費用	19,067,409	18,657,832
	営業利益	3,659,979	3,978,616
	営業外損益の部		
	営業外収益	478,817	379,210
	営業外費用	223,878	235,356
	経常利益	3,914,918	4,122,469
特別損益の部	特別利益	58,038	36,056
	特別損失	37,276	53,929
	税引前当期利益	3,935,680	4,104,597
	法人税及び住民税	1,733,452	1,937,330
	当期利益	2,202,227	2,167,266
	前期繰越利益	244,490	24,694
	中間配当額	213,820	—
	利益準備金積立額	21,382	—
	当期末処分利益	2,211,515	2,191,961

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 利益処分

(単位：円)

科 目	第42期
当 期 未 処 分 利 益	2,211,515,871
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 準 備 金	45,000,000
利 益 配 当 金	427,639,760
1株につき20円(普通配当15円、上場記念特別配当5円)	
取 締 役 賞 与 金	14,900,000
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	20,359,200
別 途 積 立 金	1,200,000,000
	1,707,898,960
次 期 繰 越 利 益	503,616,911

(注) 中間配当金として1株につき10円をお支払いいたしておりますので、当期の配当金は1株につき30円となります。

# ネットワーク

## 会社概要

(平成10年3月31日現在)

**商号** 日東工器株式会社  
**本社/研究所** 〒146-8555 東京都大田区仲池上2丁目9番4号  
TEL03-3755-1111 FAX03-5700-7192  
**設立** 昭和31年10月22日  
**資本金** 1,850,324,250円  
**従業員** 509名  
**事業内容** 迅速流体継手(カプラ)の製造・販売  
省力化機械工具の製造・販売  
リニア駆動ポンプとその応用製品の製造・販売  
搬送・測定関連機器の製造・販売

本社・研究所

**役員**  
代表取締役社長 高田 素行  
専務取締役 高橋 康宣  
常務取締役 城谷 弘介  
常務取締役 竹内 廣達  
取締役 田中 豊  
取締役 茂垣 忠久  
取締役 松永 明斉  
取締役 宮崎 孟彦  
取締役 駒木 根裕  
取締役 鈴川 準彦  
常勤監査役 辻 嶋輝次  
監査役 島田 種次郎  
監査役 檜物 一郎  
監査役 石川 恵久



氏家工場

## 支店・営業所・事務所・工場

**大阪支店**  
〒537-0001 大阪市東成区深江北2-10-10  
TEL06-973-5501(代) FAX06-978-2125  
**名古屋支店**  
〒451-0041 名古屋市西区幅下1-1-29  
TEL052-561-2881(代) FAX052-569-1068  
**札幌営業所**  
〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条4-1-13  
メゾン・ド・東札幌1F  
TEL011-823-6346(代) FAX011-831-3370  
**仙台営業所**  
〒984-0015 仙台市若林区卸町3-2-4  
TEL022-238-4711(代) FAX022-238-4713  
**新潟営業所**  
〒950-0943 新潟市女池神明2-7-5  
TEL025-285-6050(代) FAX025-285-6053

**北関東営業所**  
〒373-0852 群馬県太田市新井町552-11  
TEL0276-46-3773(代) FAX0276-46-6564  
**静岡営業所**  
〒422-8042 静岡市石田3-11-34  
TEL054-288-5855(代) FAX054-288-4170  
**北陸営業所**  
〒939-1104 富山県高岡市戸出町3-1-26  
TEL0766-63-0155(代) FAX0766-63-6125  
**高松営業所**  
〒760-0078 高松市今里町1-9-14  
TEL087-833-2020(代) FAX087-861-0820  
**岡山営業所**  
〒700-0964 岡山市中仙道30-118虫明ビル  
105号  
TEL086-243-6850 FAX086-243-6022

**広島営業所**  
〒733-0012 広島市西区中広町1-6-12  
TEL082-231-2169(代) FAX082-293-5547  
**福岡営業所**  
〒816-0093 福岡市博多区那珂5-16-19  
TEL092-584-0801(代) FAX092-584-0806  
**事務所**  
郡山・水戸・埼玉・八王子・松本・  
浜松・京都・姫路  
**氏家工場**  
〒329-1311 栃木県塩谷郡氏家町大字氏家  
3473-2  
TEL028-682-8851(代) FAX028-681-7038  
**シンガポール支店**  
81 Anson Road # 08-39 Singapore  
TEL65-227-5360 FAX65-227-0192

## 日東工器グループ

### 株式会社メドテック

〒990-2452山形県山形市三っ江222-2  
TEL023-644-4363

### メドマン株式会社

〒400-0415山梨県中巨摩郡甲西町宮沢301-31  
TEL0552-82-5581

### メド一産業株式会社

〒141-0022東京都品川区東五反田1-11-15電波ビル  
TEL03-3447-5211

### NITTO KOHKI U.S.A., INC.

4525 Turnberry Dr. Hanover Park,  
Illinois 60103, U.S.A.  
TEL630-924-9393



株式会社メドテック(山形工場)



メドマン株式会社(甲府工場)

### NITTO KOHKI EUROPE CO.,LTD.

Unit21, The Empire Centre, Imperial Way,  
Watford Herts. WD2 4YH, United Kingdom  
TEL1923-239668

### NITTO KOHKI DEUTSCHLAND GMBH

Im Meissel 6, 71111 Waldenbuch, Germany  
TEL07157-22436

### MEDO U.S.A.,INC.

4525 Turnberry Dr. Hanover Park  
Illinois 60103, U.S.A.  
TEL630-924-8811

### WESTAIR-NITTO SALES PTY.,LTD.

1 / 11, Booran Drive, Underwood  
Queensland 4119 Australia  
TEL73-808-3422

### NITTO KOHKI ( THAILAND ) CO.,LTD.

NO.49/9 MOO 4, SOI SUKHUMVIT 105  
( MOOBANNOKKHET ) ,  
SUKHUMVIT ROAD, KWAENG BANGNA,  
KHET PRAKANONG,  
BANGKOK METROPOLIS, THAILAND  
TEL2-361-5630



NITTO KOHKI U.S.A.,INC.  
MEDO U.S.A.,INC.



NITTO KOHKI DEUTSCHLAND  
GMBH



WESTAIR-NITTO SALES PTY.,LTD.

## 株式の状況

(平成10年3月31日現在)

- |   |              |                    |
|---|--------------|--------------------|
| 1 | 会社が発行する株式の総数 | 55,000,000株        |
| 2 | 発行済株式総数      | 21,442,996株        |
|   |              | (前期末比 1,949,363株増) |

### (注)1. 当期中の増加

平成9年5月20日付にて、1株につき1.1株の割合をもって株式分割(無償交付)を行い、1,949,363株増加いたしました。

- 2.平成10年3月9日開催の取締役会において、平成10年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主の所有株式数を、平成10年5月20日付にて、1株につき1.2株の割合をもって株式分割(無償交付)を行うことを決議いたしました。

これにより増加する株式数は4,288,599株であり、発行済株式総数は25,731,595株となりました。

- |   |     |                    |
|---|-----|--------------------|
| 3 | 株主数 | 1,415名(前期末比 926名増) |
|---|-----|--------------------|

## 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
同 総 会 議 決 権 行 使 株 主 確 定 日	毎年3月31日
利 益 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	毎年3月31日
中 間 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	毎年9月30日
名 義 書 換 代 理 人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900( 代表 )
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
1 単 位 の 株 式 数	100株